

Fitness Industry Association


 Fitness
Industry
Association
of Japan

NEWS

 発行:(一社)日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail.info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

～フィットネスクラブの省エネルギー対策推進研修会～

 フィットネスクラブ向けの具体策を盛り込んだ
省エネの進め方

【講師】

 東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・
ネット東京) 省エネ推進チーム技術専門員
村瀬光一氏

2016年7月8日、弘済会館にて、フィットネスクラブを対象とした省エネルギー(以下、省エネ)対策セミナーを開催した。実際に多くの企業の取り組みなどをみてきた東京都地球温暖化防止活動推進センター村瀬光一氏を講師に招き、フィットネスクラブにおいて有効な省エネルギー対策について紹介いただいた。省エネに取り組むことは、温暖化抑止につながるなど環境面でのメリットがあるだけでなく、水道光熱費の抑制などクラブの運営面においてもメリットがある。ぜひ今後の取り組みの参考にさせていただきたい。

のようなことを行い、どの程度省エネ効果が出たのかを報告してもらうのです。報告書は、東京都のHPで閲覧することもできるようになっています。また、東京都では、無料で事業所に応じたアドバイスを行う省エネルギー診断も行っており、私もこれまで、実際に多くの施設の診断を行わせていただきました。

ただ、省エネへの取り組みをお願いすると、「省エネによ、ビジネス的なメリットをしっかりと説明してほしい」と言われることも多いので、まず最初に、省エネを行うことのメリットを以下の図にて紹介したいと思います。

例えば、年商1億円の企業の場合、年間光熱費が売上げの3%として、

$$1\text{億} \times 0.03 = 300\text{万円}$$

年間光熱費の10%を削減した場合、

$$300\text{万円} \times 0.1 = 30\text{万円}$$

売上に対する営業利益率を2%とした場合、

$$30\text{万円} \div 0.02 = 1500\text{万円}$$



売上を1500万円伸ばしたことと同等の効果

はじめに

地球温暖化はすでに社会的な問題になっています。すでに地球全体の平均気温は130年前と比べて0.85℃上昇していますが、これから開発途上国が産業を興したり、先進国がこのままCO2を排出し続けたら、将来的には4.8℃も上昇すると予想されています。温暖化が進むと、海面の上昇や伝染病の拡大などの懸念が高まりますから、温暖化を抑えるための省エネへの取り組みは、たいへん重要になってきています。すでに日本でも異常気象など、温暖化の影響が少しずつ現れてきていることは、皆さんもご存知でしょう。

いわゆる国が定める大規模事業所(原簿換算で年間1,500kl以上の事業所)には、CO2など温室効果ガスの排出量について厳しい規制が設けられていますが、中小規模事業所(原簿換算1,500kl未満)には規制がないため、いかに中小企業からの排出量を抑えるかが今、問題となっています。

東京都では、「東京都環境基本計画」に基づいて2030年までに温室効果ガスを30%削減し、エネルギー消費量についても、同年までに2000年と比較して38%を削減することを目標としています。その取り組みのひとつが、「地球温暖化対策報告書制度」という、企業からの報告制度です。実際にど

これは、「省エネに取り組むと利益が増える」ということを簡単な試算で表したものです。光熱費が売上げの約3%として、その10%を削減した場合、売上に対する営業利益率を2%として考えると1,500万円ほどの売上アップに匹敵します。省エネのメリットはきちんと評価できるのです。

省エネには組織体制の構築が重要

省エネに取り組んでいくためには、きちんとした組織体制を構築し、全社員参加で進めていくことが不可欠です。経営層のリーダーシップのもと、省エネ推進事務局を設置するとたいへん有効かと思います。事務局が経営層と相談しながら会社の省エネに対する方針や目標をつくり、支店長、さらにパート・アルバイトを含む全従業員に周知するという流れで取り組みます。具体的な取り組みにおいても、事務局が主導して進めていきます。

なお、取り組みの課程では、結果を評価して、悪かったところを改善していくPDCAサイクルを繰り返していくことが大切です。節目ごとに省エネの推進会議も実施して、意見を話し合うことも重要です。

◆省エネ推進事務局(管理部門)の役割例

- ・全社における省エネルギー対策の方針、目標の設定
- ・支店ごとの目標と省エネルギー対策の設定
(各支店長などとの協議)
- ・各支店長へエネルギー消費量などのデータ提供(支店ごとの省エネルギー対策立案の基礎データとして使用)
- ・支店ごとの省エネルギー対策の評価(優れた対策をほかの支店へ水平展開)

- ・省エネルギーの成果を上げた優良支店への表彰など
- ・社員から提案された優良省エネルギー対策の奨励

◆設備管理台帳の例

※既述は例示

NO.0001

名称	空調機		設備番号	〇〇-〇〇	
メーカー名	〇〇〇〇種		仕様書等 関連図書名		
型名	〇〇-〇〇〇〇		取得価格(千円)	機器費	工事費
設置年月日	昭和55年3月15日	設置場所	8F事務室南側		
仕様	容量〇〇kW、……				
納入業者	〇〇〇空調種	連絡先		担当者	
工事業者	〇〇空調設備工事	連絡先		担当者	
通常管理ルール	①フィルター清掃は2Wに一度とする。②6月と11月に業者点検をする。 ③室外機の熱交換フィンは2年ごとに洗浄する。				
修理履歴					
年月日	内容				修理費 (千円)
2011年11月15日	点検及び室外機熱交換フィン清掃、10台同時に実施 施工:〇〇工事種				〇〇 (10台分)

※クール・ネット東京様式

さらに、設備管理台帳を整備することも大切です。私たちも施設に省エネに対する改善案をアドバイスするにあたって、まずどのような設備がどれぐらいのエネルギーを使っているのかを教えてください。新しい施設は竣工図があるので問題ないのですが、建設からかなりの年月が経っていて、リニューアルや増設を行っている施設は、一つひとつ調べていただくしかなく、設備の把握にとても時間がかかります。設備管理台帳に仕様や設置日、修理履歴などを記録しておけば、人が変わっても容易に確認することができますので、皆さまにはぜひその記録および整備を行っていただきたいと思ひます。

管理標準(マニュアル)もきちんと作成しましょう。省エネ法では、設備ごとに管理標準をつくることを推奨しており、実際、診断に伺った施設のなかには、従業員全員で話し合い、取り決めた事項をマニュアル化およびチェックリストにしている企業もありました。これは当事者意識を高めることにもつながるので、非常によい取り組みです。

省エネには“見える化”することも大事です。例えば、電気の請求金額を1年間グラフ化していくと、使用のピーク月を知ることができますし、問題箇所なども見つけやすくなります。ここで重要なのは、主要機器や機器群(空調機全体やプール用大型照明など)ごとにエネルギー消費量を測定し、“見える化”すること。全体のエネルギー消費量のみを把握している施設が多いのですが、これでは不十分です。あるクラブでは、プールにある大型照明、一般的な照明、空調など各々のエネルギー使用量を測定していました。

すると、どの設備の使用量が多くなっているのかがわかり、省エネに力を入れるべき部分の把握にもつながりますから各機器のエネルギー使用量を測定する器具やシステムなどの導入は、ぜひ検討してほしいと思ひます。

クラブの省エネ対策—地球温暖化対策報告書より

では、実際にクラブの省エネ対策はどの程度実施されているのでしょうか。都内のクラブ162件からの地球温暖化対策報告書について概要を簡単に述べますと、「組織体制の整備」については、63%の事業所で具体的な取り組み目標と内容が設定されており、半数以上の事業所で温暖化対策推進担当者も配置されていました。しかし、組織的な推進体制の整備や温室効果ガス排出量の集計をしている事業所は35%と低く、この部分をもう少し意識した取り組みが必要かもしれません。

実際に「エネルギーの使用状況を把握しているか?」という問いには、「自分が入手可能なものについては把握している」「過去のデータと比較している」という方もいましたが、既述の東京都のHPをチェックするなど、もっと外部の情報を入手したほうがいいですね。よい参考になるはずですよ。

「エネルギーなどの使用状況の把握」については、主要設備の使用状況を把握している事業所は38%となっており、電気や空調、照明、それぞれの使用量をチェックしている施設は低い結果となっていました。

なお、サービス業であるクラブが省エネに取り組むことに対しては、「お客さまが気づかないように取り組むことが大切」という方もいますが、近年では省エネに対する理解が十分進んでいますので、「当社は省エネに取り組んでいます。皆さまもご協力ください」と堂々と呼びかけてしまってもよいと思ひます。

それでは、次より、それぞれの設備における省エネ方法について紹介していきましょう。

照明設備:照明を使っていないときはこまめに消しましょう。外から光が入ってくる窓際の電灯を消すなども効果的です。外灯のつけっぱなしなども多いので、消し忘れのないよう意識してください。

適正な照度管理も大切です。国が定めた参考基準をもとに調節しましょう。廊下などは、利用者が少ないときは通常の25%ほどに照度を落とすなど、利用者の状況に応じて照度を変化させる照明の自動化を行うのもよいと思ひます。また、多くのクラブが省エネのためにLED照明を利用されており、なかには「LEDは白すぎる」という意見もありましたが、LEDの光源の色は数種類ありますので、場所などによって適切なものを選択していただきたいと思ひます。

空調設備:不在時には消す、お客さまの利用状況のみで設定温度を変える、などもよいと思ひます。冷暖房の設定温度を1℃緩和するだけでも、空調消費エネルギーの約10%の省エネになります。ちなみに、東京都が推奨する事務所などの室温は、夏期28℃、冬期20℃です。クラブは薄着で運動をする場なので空調の管理がやや難しいと思ひますが、室内に温度計をつけて、適正な温度を保つようこまめに設定温度を変えましょう。扇風機やサーキュレーターの利用も効果的です。天井が高ければシーリングファンを導入するのもよいでしょう。

夏や冬でも、もっとも気温が高くなる、または寒くなる時を除く、比較的過ごしやすい気候のときを中間期といいますが特に夏場、暑さがピークを迎える前の中間期などは、室内より室外のほうが温度が低くなっていることがあります。近年は、人のほかにもPCなどの機器によって室温が高くなりやすいので、外気をうまく取り入れれば、冷房の使用頻度も

減らせると思います。

設備の保守:地球温暖化対策報告書では、93%のクラブが空調フィルターの清掃や点検を実施しているという非常に良い結果が出ています。空調機は徐々に性能が落ちて行くのが一般的ですが、きちんとメンテナンスや適正な周期で清掃を行って行けば、性能を維持することができます。

また、フィルターや室外機のフィンなども含めて清掃などをきちんと行っていれば、年間5~10%の消費エネルギーを削減できます。しかし、室内機のフィルターは実施していても、室外機のフィンについては行っていない施設が多いですね。また、換気フィルターについても清掃の割合が少ない結果が出ています。この部分も清掃などを行うと、省エネが図れるはずです。

省エネ設備の導入対策:一部のクラブでは高効率な省エネ設備の導入が行われていますが、まだ少ないようです。蒸気関係などの断熱の強化や節水器具などの導入についてもっと積極的に検討していただきたいと思います。

温浴ゾーン・トイレ:クラブの特徴として、やはりこの部分の水の消費が大きいです。一番簡単な省エネ方法は節水型シャワーの導入でしょう。トイレに関しては、節水トイレを使用すること。この分野の節水機能は年々進化しています。クラブのトイレは多くの方が利用される分、節水トイレの導入は上下水料金の削減に大きな効果を発揮すると思います。

プール:①循環ろ過設備の省エネルギー(変流量制御:インバータ化)

焼空気量といい、実際に燃料を燃焼させるためには、理論燃焼空気量よりも少し多い空気量で燃焼させる必要があります(実燃焼空気量)、理論燃焼空気量に対する比で表します。これを空気比といいますが、ボイラメーカーに点検の際などに排ガス中の酸素量を測ってもらい、空気比を調整してもらうとよいと思います。例えば、1.6だった空気比を1.2にすると、燃料費が3%改善します。

なお、ボイラから伸びる蒸気の配管にバルブがあると思いますが、バルブが保温されていないと、ここからの放熱量もかなり大きいものになります。バルブに保温ジャケットを設置するなどの保温対策を実施することで、80~90%の放熱を防止することができます。バルブ専用の保温ジャケットなどはネットでも購入できますので、チェックしてみてください。

給湯器:ガスで温水をつくらしているクラブが多いですが、空中の熱を利用してお湯をつくる方式のヒートポンプ式電気給湯器は非常に効率がよく、CO2排出量もガスに対して約50%程度と大きく削減できるので、お勧めです。

全熱交換器:これは排気される室内の熱を回収して室内に取り入れる外気に熱を与え、空調負荷を低減する設備です。設置のために費用がかかりますが、全熱交換器をうまくつかえば、20~30%空調負荷を下げるすることができます。

デマンドコントローラの設置:受変電設備で大事なことは、最大電力を抑制することですが、これにはデマンド監視装置の導入が有効です。設定した最大電力に近づくとアラームが鳴り、知らせしてくれる仕組みです。

<最大電力>

基本料金の算定基礎となる契約電力は、当月1ヶ月の最大電力と前11ヶ月中の最大電力のうち、どちらか大きい値となります。したがって、ある月に一度でも大きな最大電力が発

生すると、以後一年間は、この最大電力によって基本料金を支払うことになります。また、最大電力は30分ごとに計量されるため、1ヶ月のうち、ある30分で不用意に最大電力を発生させると、以後一年間は高い基本料金を支払うことになるため注意が必要です。

プールは、一般的に常時温水で使用されています。ボイラや温水発生装置で加温された状態であり、水質基準を維持するため、ろ過装置、循環ポンプなどが設置されています。

- ・プール水の濁度などを指標とした「①ろ過循環ポンプ」の変流量制御(ろ過循環ポンプにインバータの導入)を行うことでポンプの搬送動力を低減させることができます。
- ・プール水を温めている熱交換器の「②温水側循環ポンプ」にインバータを導入し、プールろ過循環水側の温度による変流量制御を行うことで、ポンプの搬送動力を低減させることができます。

②プール用空気調和器(AHU)の省エネルギー(変風量、換気量制御:インバータ化)

プールには、一般的に温度調節と換気をするため単独で空気調和機が設置されています。一定運転している空気調和機の吸気ファンおよび排気ファンにインバータ装置を導入し、温度による変風量制御を実施することで搬送動力を低減させることができます。

ボイラ:点火、消火を繰り返すボイラの燃焼時間率(燃焼時間/運転時間×100%)と運用効率の関係を調べると、燃焼時間率が低下すると運用効率が悪化します。特に、燃焼時間率が40%と下回ると運用効率が大きく低下します。2~3台のボイラ(必要最大容量の1/2~1/3に設定)を設置し、給湯量が多いときは全機運転、少ないときは交互運転することにより、エネルギー損失を低減することができます。また、停止中のボイラは、給湯配管のバルブを閉じて、系統から切り離し、完全に消化しましょう。

なお、燃料を完全燃焼させるために必要な空気量を理論燃

生すると、以後一年間は、この最大電力によって基本料金を支払うことになります。また、最大電力は30分ごとに計量されるため、1ヶ月のうち、ある30分で不用意に最大電力を発生させると、以後一年間は高い基本料金を支払うことになるため注意が必要です。

自動販売機:自動販売機は24時間365日稼働し続けているため、電力使用量の低減が課題となっており、業界をあげて効率化に取り組んでいます。近年、さまざまな効率のよい機種が開発されていますから、設置業者に確認のうえ、古いものは必ず省エネ型に変えていただきたいと思います。

最後になりますが、省エネに取り組むにあたっては、国の省エネに対する支援策や、どのような省エネ方法があるのかをネットなどでぜひチェックしてみてください。また、繰り返しになりますが、アルバイトやパートの方まで周知徹底し、全社をあげて取り組んでいただきたいと思います。

このセミナーのテキストである東京都地球温暖化防止センター(クールネット東京)編さんの「フィットネスクラブの省エネ対策」冊子はネットからダウンロードできます。

<https://www.tokyo-co2down.jp/cmsup/pdf/fitness-02.pdf>



Board Meeting

理事会報告

FIAは第177回理事会を平成28年7月8日(金)弘済会館(東京都千代田区麹町)で開催し理事監事18名が出席した。

議事

(1)入退会申請審議

1. 賛助会員への入会申請

- ①アシックスジャパン株式会社(東京都江東区)
資本金 239億7200万円 営業内容 スポーツ用品製造販売
- ②レスミルズジャパン合同会社(東京都港区)
資本金 500万円 営業内容 スポーツフィットネス
商品・サービスの輸入販売。プログラム開発、市場調査。
- ③ルミーズ株式会社(長野県小諸市)
資本金7,280万円 営業内容 クレジット決済代行業。

2. 賛助会員の退会届

株式会社ダイフブリッジ

審議の結果、いずれも承認した。(レスミルズジャパン合同会社については会社設立登記確認を行うことを条件とした)

(2)後援名義使用申請審議

1. アクアフェス2016

主催: アクアフェス2016 実行委員会

催事名: アクアフェス2016

会期 東京: 2016年9月18日(日)~19日(月)

大阪: 2016年10月22日(土)~23日(日)

会場 東京: 全電通労働会館(千代田区)・ルネサンス曳舟

②「執行理事会議(メール回報)」報告の件

理事会の中間で執行理事による決定を要した事項についての報告と承認。

駅伝運営業務委託先企業の選定の件。

2社からの提案・見積りを比較検討。執行理事会議メンバー他(8名)へメール回報。意見6件を会長へ付議。サンケイ新聞を選定することを決定した。

=事業委員会=

①セミナー

実施した事業及び計画した事業について報告。

1. 総会記念セミナー(結果)

6月16日(木) 弘済会館開催。参加者85名

「フィットネス産業はマーケティングの時代へ
~伝える顧客に伝わる価値」

講師: 西根 英一氏

2. 東京都主催 省エネ研修会(予定)

7月8日(金) 弘済会館開催。参加予定40名

東京都環境局(クールネット東京)監修
「フィットネスクラブの省エネ対策」説明会

講師: 村瀬 光一氏

3. SPORTEC2016(8月2日~4日)FIA提供セミナー
(予定 有料3講座 無料1講座)

B-5 FIAトップセミナー 8月3日(水)12:30-14:30

業態の急速な多様化を背景としたこれからの事業戦略について

パネリスト: 吉田 正昭会長・田畑 晃副会長
大橋 充理事

A-3 FIAマネジメントセミナー

8月2日(火)15:45-17:45

(墨田区)大阪: 大阪プール(大阪市 港区)

内容: アクアプログラム・スタジオプログラムのインストラクター向け講習会。アクア指導者資格・運営面はミズノ(株)が主管。

2. 日本健康マスター検定

主催: (一社)日本健康生活推進協会

催事名: 日本健康マスター検定

試験: 2017年2月 東京・大阪・名古屋にて実施予定

内容: 「食事バランスガイド」「健康づくりの為の運動指針」「メンタルヘルス」等国の健康づくり指針普及の為の知識検定。受験対象者は職域・地域・一般の健康管理・推進担当者を想定。合格者は「健康マスター」認定。受験料4,800円。

審議の結果いずれも後援を承認した。

(3)各委員会の活動状況(審議・報告)

=社会・渉外委員会=

①熊本地震被災支援について

熊本県内クラブアンケート(6社)による意見を報告。

* 物資よりエクササイズ指導やボランティアへの講習等が有効ではないか。

* クラブによる物資配布は数量範囲により可能、など。加盟クラブ等が行った主な活動。

* 会員の募金+会社拠出金を日赤・24HTV等を通じて募金。

* 被災地に近いクラブでは炊き出し実施、など。

協議の結果、FIAとして効果的に実施できる業界団体ならではの具体策に至らず、今回は活動無しとした。

FIA調査研究報告の解説

フィットネスクラブ利用者の継続要因の分析と顧客定着に向けた課題の確認

講師: 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

松岡 宏高氏

クラブビジネスジャパン 代表取締役社長

古屋 武範氏

B-7 FIAマネジメントセミナー 8月4日(木)10:30-12:30

これからのフィットネスを基軸としたヘルスケアビジネス展開を担う人材の採用と育成

<パネリスト>

川島 浩一氏 (株)東急スポーツオアシス

水原 一鵬氏 (株)ティップネス

松岡 さつき氏 (株)エイム

J-16 FIAセミナー 8月4日(木)14:30-16:00

フィットネスクラブの省エネ対策と新電力活用を含む費用節減対策2講座

講師: 東京都地球温暖化防止活動推進センター(クールネット東京) 村瀬 光一氏

東京ガス(株)法人営業第二部 望月 直樹氏

②全国スポーツクラブ駅伝2016

2016年度の開催日程及び準備状況について報告。

東京: 10月22日(土)江東区夢の島陸上競技場(周回路1,500M)

大阪: 11月26日(土)長居第2陸上競技場
実行委員会の開催

(大阪実行委員会)5月12日(木)

(東京実行委員会)6月29日(水)

東京会場については7月10日頃の募集開始予定。

③FIAマスターズスイミング大会

本年度開催予定と準備状況を報告。

1. FIAマスターズスイミングフェスティバル2016

2016年9月25日(日)京都アクアリーナ 開催。

5月11日実行委員会

6月17日募集開始～8月2日締切。

8月下旬会場打ち合わせ予定。

前回反省会意見集約からの改善点



①クローズド大会(FIA加盟クラブ限定)とした

②参加チーム対抗表彰・ジャストタイム表彰を新設した。
詳細はFIA-HPをご確認ください。

(http://www.fia.or.jp/act/event/masters_fes_2016/)

2. FIAマスターズスイミング選手権大会2017

2017年3月4日(土)・5日(日)日程確定。

12月初旬募集開始予定。

＝調査研究委員会＝

本年度の取組予定について報告。

「フィットネスクラブの会員継続要因の分析(フィットネスクラブの価値が正しく生活者に伝わるようにするための調査研究第2弾)」

2016年8月2日(火)SPORTECセミナーを皮切りに、FIAセミナー・各地域セミナーとして報告・勉強会を実施予定。

＝組織基盤拡充委員会＝

各地域組織との連携事業について報告。

①北海道スポーツクラブ連絡会 セミナー提供 19名
4月16日(土) 会場:プレミアホテル札幌(札幌市)

1. テキスト再編プロジェクトの進捗

検定運営委員会においてテキスト試行版のブラッシュアップを実行中。実用性重視を前提とした各級のテキストの修正点の詳細な洗い出し。

2. 厚労省への9月申請に向けて必要となる手続きや、編成すべき委員会等の確認と、進行スケジュールの確認を実施。

(4)本年度FIA組織の件

本年度FIA組織体制について、各会議体、委員会の設置、担当理事等について協議を行い、以下を決定した。

1. 従来委員会を担当しなかった会長・副会長も、それぞれ所属委員会を持つ。
2. 前年度設置した女性活躍プロジェクトを委員会に位置づける。(当面時限設置)
3. 組織図に執行理事会議を位置づける。

尚、各委員長を副会長とする意見、委員長に関係予算執行権付与を考慮する意見、等を紹介し討議。今後も意見交換を行うものとしつつ、副会長の人数過大、理事会・執行理事会との権限輻輳などの懸念意見があり、当面現行の理事会・執行理事会・委員会の組織建てで良いとした。

(5)その他

1. 9月理事会開催場所の件(審議)

年1回、地域の加盟・非加盟企業・クラブ諸氏との意見交換や交流を行うことを趣旨として各地方で開催することとし次回(9月)は広島市にて開催することを決定した。

2. 経産省ヘルスケア産業課照会事項の件(協議)

警察機関より同課への問い合わせにつき、7月7日FIAへ照会あり。

1. 「フィットネス・スポーツクラブが顧客定着のために今一度見直すべきサービス提供を考える」

講師: 松村 剛 FIA事務局長

2. 「フィットネスクラブマネジメント検定」概要説明会

②みちのくフィットネスクラブ協会 セミナー提供 15名

5月27日(金) 会場: グランスポール上杉店

1. 「IHRSA 2016 から見るフィットネストレンドの動向」

2. 「フィットネスクラブマネジメント検定」概要説明会

③広島県フィットネスクラブ協会 & FIA共催セミナー 88名

6月5日(日) 会場: 広島県立総合体育館 大会議室

1. 「フィットネス・スポーツクラブが顧客定着のために今一度見直すべきサービス提供を考える」(90分)

講師: 松村 剛 FIA事務局長

2. 「問題解決型トレーニングプログラムの実～いま求められるトレーナーとは～」(90分)

講師: 大岡 茂 株式会社 R-body project ディレクター
MS/JASA-AT/CSCS

④北海道スポーツクラブ連絡会総会出席/セミナー提供 10名

6月25日(土) 会場: ホテルルートイン札幌中央 会議室

1. 総会出席

2. セミナー提供 「Global Fitness Trends 2016」90分

＝スポーツ・フィットネスクラブマネジメント技能検定(仮称)運営委員会＝

検定試験制度構築作業の報告と、今後の予定について報告を行った。

趣旨＝「無人営業店舗が出来ているが適法性は担保されているか」協議の結果、「警察が懸念・疑義を持つポイントは何か？」をヘルスケア産業課へ照会することとした。

理事会では、事業者としてセキュリティの確保は、施設・運用両面で各社配慮しているとの共通認識のもと、無人時間帯を伴う営業形態に問題はないと判断した。

3. 来年度総会開催の仕方について。

事務局より総会及び関連事業(セミナー・会員パーティー)の開催の仕方について昨年度本年度の説明と来年度(平成29年度)の予定を次のように説明し、協議。

(数値は出席数)

平成27年度＝6月総会(25)・7月SPORTECに併せて会員パーティー(133)を開催。

平成28年度＝6月 総会(27)・セミナー(85)・会員パーティー(114)を開催。

平成29年度(案)＝6月 総会のみ。SPORTECに併せてセミナー・会員パーティーを開催。

協議の結果、各地からの参加者の便宜、会員からの問い合わせなどを勘案し、会員への情報提供と交流機会としての関連事業はSPORTEC(7月～8月)に併せ開催することとした。総会は定款の定め通り6月開催とする。

Information

お知らせ

1. 「敬老の日にフィットネス！」キャンペーン終了と新たな催事の企画について。

平成11年より実施して参りました「敬老の日にフィットネス」は

高齢者層への普及啓発事業としては、その目的を達成したものと終了することと致しました。長年にわたってこのイベントにご協力いただいた各クラブ様には、心より感謝いたします。

FIAでは、業界団体ならではの社会貢献事業として健康寿命延伸に寄与できるような新しい事業をスタートすべく検討しています。その折にはまたご協力頂けますようお願い申し上げます。

2. FIA全国スポーツクラブ駅伝2016 (募集中)

東京 10月22日(土)江東区夢の島陸上競技場
周回路1,500M 成人 定員3,000名
大阪 11月26日(土)長居第2陸上競技場
周回路2,400M 成人・キッズ 定員2,500名
参加費:大人4,320円(税込)
各クラブによる別途設定も可。
加盟クラブへチラシ送付済み。
詳細FIAホームページ参照
<http://fia-sports.net/index.html>

3. FIAへの相談や質問に対する各社の取り組み

フィットネス事業者団体としてのFIAには、日々様々な相談や質問が寄せられます。そんな中で、皆さまの日々の事業運営にも関係し、有効な情報と思われる事例についてはその都度、ご紹介させていただいております。今回は、以下のようなケースについて各社の取り組みをまとめましたので、ご紹介させていただきます。

しかしながら、不安という方やボックスへの保管を拒む方もいるため、その場合は、お客様自身でお持ち帰りしていただくようお願いしています。

B社: 当社の状況ですが、8割方の店舗はシステムで個人メニューを管理しており、IDとパスワードが必要なので他人に閲覧される心配はありません。

ただ、2割くらいの店舗は紙での個人メニューを使っております。こちらの運用ですが、鍵付のキャビネットに保管はしておりますが、営業時間中はお客さまが出し入れできるように開錠されています。他人が閲覧できる状況でもあるため、個人メニューをキャビネットに保管されるお客さまには事前に誤って閲覧されるリスク等もある旨の同意を書面で得ております。

C社: 弊社では新規入会者の方に個人別ファイルをお渡しする際に、「個人ファイル受領書(兼保管依頼書)」を記入、提出頂いております。新規入会者のほぼ全ての方が「個人ファイルの施設保管を希望します。」を選択されるのが実態となっております。

D社: 個人情報について、会社が「保有」している個人情報か、そうでないかが重要な要素となります。「保有」個人情報については、会社に安全管理義務が生じます。会社側(店舗側)が、「お客様が個人プログラムをご自身で管理し、置いて帰れる保管場所を提供している」とすることで、「保有」ではない状態になります。

もちろん、安全管理上、「重要な情報は記載しないでください」「鍵がかからないので、他の方が誤って閲覧するリスクがあります」等の啓発はするべきだと思います。

質問: 現在、当クラブでは、個人情報保護認証に関する「JAPICO」マークを取得いたしました。取得審査の際に、フィットネスクラブでよくある「個人プログラム」について指摘を受けました。現在、一部会員(クラブによっては全会員)へのサービスとして、個人メニュー(手書きメニュー)を作成していません。手書きのため、パソコンではなく、キャビネットファイルに保管し、メンバー様個人で自身のプログラムを出し入れし、記録していただくというシステムです。当然ですが、出し入れする際に、他人のメニューが見えてしまったり、別の方のファイルに間違っただけでプログラムを戻してしまったりというトラブルが考えられ、個人情報の管理として望ましくないというものでした。

スタッフが、メンバー様お一人お一人にプログラムをお出しする余裕があれば良いのですが、それでは業務の手間や人件費等の問題も生じます。

この「手書き運動プログラム」は、当クラブではサービスの主力であり、退会防止にも大きく関わっています。他のクラブ様でも、同じようなシステムをお見かけ致しますので、何らかの具体策をとっていらっしゃるごところがありましたら、教えていただければと思います、ご質問させて頂きました。

回答:

A社: カルテボックス保管にあたっては、お客様に「カルテ保管承認日」「ご署名」へサインをいただくようにし(※パーソナルデータ記載)、お客様とスタッフ以外はカルテを確認することはない旨、お伝えしています。

他に、重要な情報である「生年月日」「住所」等の重要個人情報は記載しないことを明示して、場所の提供をするという方法が適当だと考えます。

E社: 弊社におきましても以前、同様の内容にて会員様からご意見をいただくことや実際に紛失が発生し対応に追われた経験がございます。その際に「承諾書」をいただくよう運用を変更しました。「承諾書」をいただきました上でジム内の棚にて保管管理しております。その後、ご意見やトラブルはなくなっております。

F社: 当社も過去、トレーニングカード収納キャビネットを提供しましたが、個人情報保護法施行に先行し、当時の会員に、

- ① トレーニングカードはご利用の都度自宅に持ち帰り、必要に応じてクラブに持参する。
- ② 別途クラブが提供するコンピューター管理に移行する。

からの選択をお願いしました。また、継続してキャビネットをご利用のお客さまには、当社個人情報保護方針をお示ししたうえで、

1. ご本人以外の第三者もカードの内容を見ることができカード自体の紛失・盗難・汚損の可能性があること。
2. お客様を特定できるような情報(お名前、生年月日、性別、住所等)については、できるだけカード上に記載しない(記載されていれば消去が望ましいこと)
3. キャビネット内カードの記載を第三者が無断で見たり、カード自体が所在不明となったり、汚損した場合でも当クラブは一切の責任を負えないこと。

などを十分ご理解の上、ご使用いただくことをお願いしております。

New Clubs

出店情報

8月のオープンクラブ

ホリデイスポーツクラブ富士宮

所在地: 静岡県富士宮市小泉権現169番1
TEL: 0544-25-5800

Curves名東本郷

所在地: 愛知県名古屋市中東区上社2丁目62
平安ビル1F
TEL: 052-779-0388

Curves河内国分

所在地: 大阪府柏原市国分西2丁目1-22 1階
TEL: 072-977-3636

Curves下高井戸

所在地: 東京都世田谷区赤堤4-41-11 Nビル2F
TEL: 03-6265-8650

Curvesわかやま延時

所在地: 和歌山県和歌山市土入73-1
TEL: 073-452-7290

●FIA会員

Curvesピアゴ小矢部

所在地: 富山県小矢部市今石動町2丁目9-18
TEL: 0766-53-5195

Curves鳴門

所在地: 徳島県鳴門市撫養町小桑島字前浜23番地
TEL: 088-677-9619

Curvesおわせ

所在地: 三重県尾鷲市中川29-8
TEL: 0597-25-0778

Curves羽島Wing151

所在地: 岐阜県羽島市小熊町島1-46
TEL: 058-394-2400

Curvesアルプラザ枚方

所在地: 大阪府枚方市津田元町1丁目4-1
TEL: 072-859-2611

Curvesくりえいと宗像

所在地: 福岡県宗像市大字くりえいと1-6-2
TEL: 0940-35-5518

●FIA会員

Curves東大泉

所在地: 東京都練馬区東大泉6丁目2-43
アルベロハイム1F
TEL: 03-6904-6158

Curves茅ヶ崎幸町

所在地: 神奈川県茅ヶ崎市幸町20-33 2階
TEL: 0467-88-1313

Curvesフジグラン重信

所在地: 愛媛県東温市野田3-1-13
TEL: 089-948-8100

●FIA会員

エニタイムフィットネス柏店

所在地: 千葉県柏市柏2-9-7 アルシェ柏 2F
TEL: 04-7170-2075

エニタイムフィットネス大野城

所在地: 福岡県大野城市乙金3-13-81
乙金ロイヤルビル
TEL: 092-558-1131

エニタイムフィットネス浦添店

沖縄県浦添市城間4-35-8
TEL: 098-917-0313

エニタイムフィットネス落合南長崎

所在地: 東京都新宿区西落合3-8-19
TEL: 03-3565-6806

エニタイムフィットネス赤羽北店

所在地: 東京都北区赤羽北1-13-2
ペルマネンテ・アビ 1~2F
TEL: 03-5332-5188(臨時受付中野坂上中央店)

エニタイムフィットネス横浜西口

所在地: 神奈川県横浜市西区北幸2-10-36
TEL: 045-620-6861

エニタイムフィットネス駿河馬淵

所在地: 静岡県静岡市駿河区馬淵4-2-6
TEL: 054-260-7488

Issue

記事

ルネサンス、コミュニティネットと提携

フィットネスクラブ大手のルネサンスは、介護サービスを手掛けるコミュニティネットと資本提携したと発表した。議決権比率は8.4%の予定。ルネサンスが手掛けるリハビリ施設「元氣ジム」をコミュニティネットが運営する高齢者向け施設の居住者に使ってもらうなど、事業での連携を強める。役員の派遣など人材交流も進める。

(2016.7.1 日経産業)

「ライザップ」ブランド商品、伊藤忠がライセンス契約

伊藤忠商事はフィットネスクラブ「ライザップ」を運営する健康コーポレーション(現RIZAPグループ)と、アパレル・雑貨分野のライセンス契約を結んだと発表した。スポーツウエアを中心に「ライザップ」ブランドの衣料品などを伊藤忠が企画・生産し、2017年春から売り出す。3年後に小売金額ベースで20億円の売り上げを目指す。具体的な企画は今後決めるが、速乾性などスポーツをする際に適した機能を備える見込み。上下のウエアや水着、靴下など幅広い品ぞろえを想定。ライザップブランドの商品は大手スポーツ用品チェーンや総合スーパーなどで販売したい考え。

(2016.7.6 日経MJ)

認知症予防に企業動く クラブツーリズム、旅行の効果共同研究

認知症予防をキーワードとした企業の動きが広がってきた。旅行大手のクラブツーリズムは6日、旅行が認知症予防にもたらす効果を東北大学と共同研究すると発表した。旅行が認知症の原因とされる脳の萎縮を抑えるかどうかなどを検証する。食品業界では認知機能の向上をうたう商品が登場。認知症の高齢者の増加が予想される中、シニア層へアピールする。

(2016.7.6 日本経済)

東急系、アプリでフィットネス

フィットネス大手の東急スポーツオアシスは、19日から、フィットネスクラブの会員用スマートフォンアプリ「オアシスリンク」を全33店舗で使えるようにし、インターネットを活用した会員の満足度向上へ取り組みを開始した。正しい運動の仕方を伝える動画配信サービスも充実させ、「実店舗オンリー」だったサービスを変えようとしている。

(2016.7.13 日経MJ)

東武スポーツ、クラブ会員の学習支援

東武鉄道グループの東武スポーツは9月、小中学校の教科書の内容が学べるウェブ教材の提供を始める。同社のスポーツクラブに通う子どもを学習面でも支援し、長くクラブを利用してもらう。学校の成績を理由に退会する例が目立っていたことに対応した。スポーツクラブの運営会社が学習教材を提供するのは珍しい。

(2016.7.13 日本経済)

ローソンで介護相談、ハートパートナーと連携

ローソンは15日、広島県呉市で介護サービスを手掛けるハートパートナーと組み、介護相談の窓口などを併設した「ケアローソン」を開業した。広島県内では第1号となる。介護が必要な高齢者や家族、介護予防に関心のある高齢者の相談に乗る拠点として定着を図る。

(2016.7.16 日本経済)

フィリピン、フィットネスジム

——健康志向、マッチョ好む

高い経済成長が続くフィリピンの首都マニラで、フィットネスジムに通う人が増えている。健康に気を使う余裕のある中間層が拡大しているため、外資系大手チェーンは店舗数を伸ばしている。見逃せないのはフィリピンならではの歴史的背景。長く統治してきた米国文化の影響を受けて「マッチョ」が好まれ、若者たちは日々筋トレに汗を流している。

(2016.7.11 日経産業)

メタボ健診受診率、国の目標下回る 14年度は5割弱

生活習慣病予防のため40～74歳を対象にした特定健康診査(メタボ健診)の2014年度の受診率が、前年度より1.0ポイント増え48.6%だったことが11日、厚生労働省の集計で分かった。国は受診率70%を目標としており、大きく下回る状況が続いている。

特定健診では腹囲が男性なら85センチ、女性なら90センチ以上で、血圧や血糖などの値が基準を超えるとメタボリック症候群と判定する。14年度の対象者は5384万人で、受診者は2616万人。メタボと判定され、生活習慣の改善を促す特定保健指導の対象になったのは440万人で、同指導を終えたのは78万人だった。

(2016.7.11 日本経済)

イオン、マレーシアで専門店3倍、3年で150店に

イオンは海外の中核拠点であるマレーシアで専門店を増やす。食品や衣料品など総合的な品ぞろえの大型店を中心としてきたが、医薬品や家具などを専門に扱う店を今後3年で3倍の150店以上にする。日本でグループ企業が展開するペットやスポーツ用品店、フィットネスジムなどの展開も検討する。

(2016.7.23 日本経済)

江東区、民間ジムで介護予防、コナミなどと連携

東京都江東区は8月から、「コナミスポーツクラブ東大島」や「スポーツクラブ ルネサンス北砂」など6事業所と委託契約を結び、介護予防事業を始める。65歳以上の元気な高齢者を対象に、委託する施設を体験利用してもらう。参加者は自己負担2,000円で約1ヶ月間、計4回分を体験利用できる。区は1人あたり4,000円を補助する。

(2016.7.23 日本経済)

新日本無線、LEDで鼓動・酸素量を計測

新日本無線は発光ダイオード(LED)の光を使って血管の鼓動(脈波)と血液中の酸素量を計測するウェアラブル端末用センサーを開発し、国内で量産を始めたと発表した。生体情報を活用するヘルスケアやフィットネス関連の機能を備えた端末のリストバンド部分に組み込む。LEDを使った生体情報計測センサーの需要増に対応する。

(2016.7.29 日経産業)